

平成27年度石巻地域産業人材育成・定着推進会議（第1回）

参加者発言要旨及び意見交換概要

1 会議の目的

石巻地域における高校生の産業人材としての育成と就職後の定着に向け、各高等学校の取組や就職先となる地元企業が求める人材について意見交換を行う。

2 出席者

石巻魚市場株式会社	代表取締役	須能 邦雄
株式会社高政	専務取締役	高橋 正壽
株式会社橋本道路	代表取締役	橋本 孝一
東北電子工業株式会社	取締役管理部長	茂貫 孝子
宮城県石巻商業高等学校	教諭	鶴田 幸喜
宮城県石巻北高等学校	教諭	山崎 賢一
宮城県東松島高等学校	教諭	横山 浩人
石巻市立桜坂高等学校	教諭	小山 信
高校教育課キャリア教育班	主幹（副班長）	長田 晃明
東部地方振興事務所	所長	正木 毅
地方振興部	地方振興部長	乗田 知男
商工・振興第一班	次長（班長）	元木 潔
	技術主査	菅原 伸

3 参加者発言要旨

① 宮城県教育長高校教育課

- ・志教育の定義は、人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていくこと。
- ・キャリア教育の定義は、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促すこと。
- ・今後は学生が創意工夫し、自発的にキャリアを発達させていくための教育が求められる。
- ・高校教育課が実施している産業人材育成関連事業は、クラフトマン21、クリーンエネルギー、循環型、産業人材育成重点化モデル事業の4つである。

② 石巻商業高等学校

- ・本校の人材育成についての実施メニューは、1年次では、外部講師を活用した職業講話、2年次では、企業見学やインターンシップ、3年次では、ガイダンス、夏休み中の学習会、模擬面接会となっている。
- ・取組の成果は、例年進路達成率が100%であること、公務員合格者が増加していること。
- ・課題は、就職後4年間での離職率が約4割であること、インターンシップの受け入れ企業の確保や希望業種の確保が困難であること。
- ・今後の進路指導部の取組は、基本的な生活習慣の指導、文章作成の指導、企業見学の増加、基礎学力の定着である。なお、企業見学については、教員も自ら企業を訪問し、企業とのつながりを強化したい。

③ 石巻北高等学校

- ・本校の人材育成についての実施メニューは、1年次では卒業生のお話を聞く会、2、3年次では経営者や従業員の講話聴講となっている。
- ・上記の取組を、学生の今後の人生に活かすことが課題である。

④ 東松島高等学校

- ・本校は単位制3部制の形態をとり、1年次の必修授業以外は全て選択制、希望制の授業であるため、卒業年次も学生により異なる。
- ・不登校経験者が多く、基本的なコミュニケーションや就職後の心配がある生徒のケアに重点を置いているため、進路指導にまでは深く取り組めていない。

⑤ 石巻市立桜坂高等学校

- ・本校は女子高ならではの学校づくりや進路指導を行う必要があると考える。
- ・人材育成についての実施メニューは、1年次では、コミュニケーション能力の向上のため、グループワーク、社会人講話聴講、社会人インタビュー・プレゼンを行う。2年次では、社会人講話、インターンシップ、職場見学、オープンキャンパス、社会人インタビュー・プレゼン、3年次では、学びの履歴書作り、親教育、地域行政・産業界への提案となっている。
- ・キャリア教育の成果として、地域のリーダーとなる女性を育成したい。
- ・就職先企業に望むことは、学校と企業がともに育成できる環境づくりである。
- ・来年度実施予定である全校生徒200名でのインターンシップにおいて、企業説明や、従業員・雇い主の考えを聞く機会を盛り込みたい。

⑥ 宮城県教育庁高校教育課

- ・石巻工業高校の取組状況は、「人づくり」、「キャリア教育」として、みやぎクラフトマン21事業の中で、地域企業と連携し、小・中学生向けの出前授業を実施。また、タブレット使用した防災教育も行っている。
- ・宮城水産高校の取組状況は、同校独自で地域連携推進会議を組織し、議論を実施している。

⑦ 企業経営者

- ・高卒採用の難点は、安全面等の教育に時間と費用がかかることである。
- ・当社は、採用後の教育方針として、新人研修・フォローアップ研修や資格取得に重点を置いている。
- ・求める人材は、人とのかかわりの中で、立場・価値観の異なる人と協力し、目標を達成する力。
- ・人材育成取組へのアドバイスとしては、工場見学等の機会の提供を増やすこと、学校側と建設業界の連携を密にすること。
- ・企業経営者は、企業の方針や取組事業を新入社員に理解してもらい、個人の立場を土着させ、将来の生活展望を持つことができる教育をする必要がある。

⑧ 企業経営者

- ・当社では新卒採用多く、離職率も低いですが、新入社員が定着するためには、意欲や目標を見失わないようにする必要がある。
- ・研修に力を入れており、適材適所の配属となるように努めている。

- ・家庭の教育も重視し、先生、家庭、会社、社会が連携した教育が必要。

⑨ 企業経営者

- ・人材の定着には、職業選択の誤りをなくすことが課題となる。その中で企業に取り入れてもらいたいことが、モデル賃金である。
- ・進学率が高い中、就職した自分の意思を保つことが難しくなることが離職率の高さに影響する。コミュニケーションをとりながら従業員のケアに取り組むことの一環として、HQMシステムを採用している。
- ・企業見学ツアーは7月のガイダンス前後にすべきである。
- ・企業人として経済原理を理解する必要がある。

⑩ 企業経営者

- ・今年は採用人数を7人に増やしたことで、価値観や新入社員の考え方、行動パターンが把握できる効果があった。
- ・学校では報告書作成業務が多く、学生と向き合うことを大切にすべきである。
- ・インターンシップの機会を増やし、学生が現場をより理解することが必要である。
- ・中学校進学時に将来の仕事について考えさせるべきである。
- ・新入社員には、やる気と粘る気持ちさえ持ってもらえばよい。

4 主な意見

- ・長期間のインターンシップの調整
- ・学生主体のインターンシップ調整
- ・就職ガイダンスの実施時期に合わせた企業見学
- ・他高と合同での企業見学
- ・1，2年次からの産業人材育成
- ・学校に対する企業自身のアピール
- ・学校と地域の連携

5 今後の方向性

- ・学校では今後のカリキュラムに、企業では社員教育に活かすための参考にとし、本会議における議論の反映の度合いを確認していく。
- ・具体策については本会議を通じて継続的に議論していく中で取りまとめていく。

6 意見交換の概要

○職業選択について

【学校側の取組・考え】

- ・インターンシップ、企業見学、職業講話、模擬面接等を実施。インターンシップ先企業を学生自身で開拓する取組も行っている。
- ・インターンシップや企業見学の課題は、受け入れ企業の確保や希望業種の確保が困難であること。参加対象を学生全員とするか希望者とするかも検討課題。
- ・教員も企業とのつながりを強くする必要がある。

【企業側の取組・考え】

- ・インターンシップ，企業見学を実施。企業見学の時期は，学生が進路選択についてのガイダンス等を実施する7月頃に実施することが望ましい。また，企業自ら学校にアピールすることも必要。
- ・現場を知る機会を増やし，企業の方針や経営者・従業員の考え方の理解増進に努めるべきである。
- ・企業，学校，家庭，社会との連携を強めるべきである。

【教育庁の考え】

- ・工場見学を他高と合同で実施することが効果的である。
- ・長期のインターンシップを検討されたい。

○学生・新入社員が求める人材について

【学校側の取組・考え】

- ・コミュニケーション力の向上。
- ・地域のリーダーとなる人材。

【企業側の取組・考え】

- ・やる気，粘る気持ち。
- ・人とのかかわりの中で，立場・価値観の異なる人と協力し，目標を達成する力。

○学生・新入社員の教育方針について

【学校側の取組・考え】

・コミュニケーション力・プレゼンテーション力の向上に向けたインタビュー活動を実施。学生の精神面のケアも行っている。今後は基本的な生活習慣，基礎学力，文章作成能力等の習得に向けた指導を実施予定。

- ・学校と企業が共に学生を育てる環境・協力体制を築いていきたい。

【企業側の取組・考え】

- ・企業の取組や，仕事や勤務体系に対する考え方の教育を実施。
- ・職場研修を通して適材適所を見極めている一方，新入社員の価値観や考え方の把握に努めている。

【教育庁の考え】

- ・1，2年次から産業人材育成に取り組むべきである。

○就職後の定着について

【学校側の取組・考え】

- ・離職率が高く，今後は将来を見据えた進路指導が必要。

【企業側の取組・考え】

・進学率が高い中，就職した自分の意思を保つことが難しくなることが離職率の高さに影響する。

・意欲・目標や，やりがい，生きがいがないと定着しない。モデル賃金として，将来設計を示すとともに，職場内でのコミュニケーションの取り方を改善する必要がある。

○今後の方向性

- ・学校では今後のカリキュラムに，企業では社員教育に活かすための参考にすることとし，本会議における議論の反映の度合いを確認していく。
- ・具体策については本会議を通じて継続的に議論していく中で取りまとめていく。